

～ 電磁波と健康について ～

- ❖ 電気や電気製品がない生活は考えられないくらい、私たちの身近に電気製品があふれています。その結果、私たちは毎日大量の電磁波を浴び続けています。
- ❖ 欧米では、「電磁波は健康障害に影響あり」と考える人が多くなってきています。
- ❖ 夜、高圧送電線の下で蛍光管を手を持っているだけで蛍光管が明るくなるほど、高圧送電線の下では電磁波が強いことが分かっています。
- ❖ 高圧送電線や変電所、家庭用電気製品などから出る低周波の電磁波を慢性的に被曝していると、がんや白血病などになると問題になっています。
- ❖ 疫学調査で小児がんや小児白血病の発症率が高いことが判明しました。
- ❖ スウェーデンでは、テレビやパソコンのブラウン管は、画面から30 cmで2mG（ミリガウス）以下に規制。2～3mGを基準に小学校や幼稚園の移転、鉄塔撤去などの対策を始めました。

「学校や病院が高圧送電線のそばにあってはならない」と移動を強く勧告しています。
- ❖ スイスでは、送電線を建設する場合、「周りの住宅地では10mGを超えてはならない」と規制しました。
- ❖ フロリダ州では、「電線や鉄塔の周囲に児童を近づけてはいけない」と規制。
- ❖ カリフォルニア州のアーバイン市では、「4mG以上の地域には住宅や子供の施設を造ってはいけない」という規則をつくりました。
- ❖ 送電線直下に建物が建てられるほど規制が激甘なのは、先進国では日本だけです。
- ❖ 最近は強い低周波の電磁波を続けて被曝し、短期間で電磁波過敏症になる人が増えているので注意が必要だそうです。
- ❖ 電磁波過敏症患者は、他の人が感じない微弱な電磁波でも、頭痛・めまい・吐き気・視力障害・疲労感に襲われ、この症状は突然襲ってきます。
- ❖ 症状は多種多様で、平衡感覚障害・イライラ・目の充血・呼吸苦・発汗・冷や汗・胸痛・不整脈・動悸・しびれ等さまざまな症例が報告されています。
- ❖ 送電線の近く、電車の中、家電製品、パソコン、携帯電話、歯科のレントゲンや医療器具等にも反応し近づくことができない等の障害が現れます。
- ❖ 電磁波もアレルギー発症の隠れた引き金です。

「電磁波が花粉症の結膜炎症状を悪化させる可能性がある」という報告もあります。
- ❖ 特にシックハウス症候群や化学物質過敏症の方は、電磁波にも過敏に反応するケースが多くみられます。
- ❖ 対策としては、とにかく「電磁波を浴びる総量を減らす」ことです。



- ❖ 携帯電話などの高周波の電磁波は、長時間使用すると、頭の中心部にホットスポットを作り出し、脳にダメージを与える可能性が高いことが分かりました。
- ❖ アメリカでは、長時間携帯電話を仕事で使う人が脳腫瘍になってしまったとして、訴訟問題が発生しています。
- ❖ イギリスの調査委員会では、化学的な証拠は揃っていないとしながらも、携帯電話の電磁波が健康に悪影響を与える潜在的危険性を認め、成長期の子供の使用を制限すべきとの報告書を公表し「子供は神経の発達過程にある為、大人より電磁波の影響を受けやすい」と指摘しています。
- ❖ 家電製品や送電線など、電気が流れているところに発生するのは低周波の電磁波です。高圧送電線などから発生する極超低周波の電磁波は、磁場の性質が強くコンクリートでも突き抜けてしまい、遮蔽するのは困難です。
- ❖ 発電所から送られる電気は100万Vです。変電所で徐々に電圧が下げられていき、配電線によって各家庭の近くまでやってきたものが柱上変圧器で200V～100Vになり家庭に引き込まれます。
- ❖ 高圧送電線（地下送電線にも注意）・変電所・配電線・柱上変圧器からの電磁波は極めて強いことが分かっています。
- ❖ 家庭内にあるさまざまな電気製品から大量の電磁波が出ています。
- ❖ 電磁調理器＝IHクッキングヒーターは家電品では最も強い電磁波が出ています。離れて使うことができにくい製品なので、人体への影響が大きいと考えられます。（空気を汚さないなどのメリットもありますが、電磁波の影響が大きなデメリットになります。）すでにお使いの方は「時間と距離」の関係を頭に入れて、手短にお使いください。特に、妊婦の場合、お腹に接近しますので胎児への影響が心配です。
- ❖ 一般的に、モーターを使用している製品で消費電力の大きい物は、電磁波を多く発生させています。
- ❖ 密着型で長時間使用する、電気毛布・電気敷き毛布・電気カーペット・電気こたつ・ヘッドホン・電気式床暖房などが最も注意が必要です。
- ❖ 頭部近くで長時間使用する、携帯電話・ドライヤー・美顔器・シェーバー・電動歯ブラシ・ビデオカメラなども注意が必要です。
- ❖ 電子レンジ・布団乾燥機・電気鉛筆削り器・ハンドミキサー・電気ミシン・エアコン・加湿器・扇風機・テレビ・電気ストーブ・洗濯機・乾燥機・食器洗い機・換気扇・炊飯器・掃除機・アイロンなどは電磁波が比較的強い製品です。
- ❖ 職場で注意が必要な製品の筆頭はコンピューターのディスプレイです。横方向や後方向の方が強い電磁波が出ていることがあるので使わない方も注意が必要です。
- ❖ コンピューターのブラウン管（VDT）からは、さまざまな電磁波が発生しています。仕事で長時間ディスプレイに向かっている人に、精神障害・神経障害・異常妊娠・異常出産が多く見られることが判明しました。
- ❖ 液晶ディスプレイはごく微量しか発生していません。



- ❗ 同じメーカーのディスプレイでも、EU に輸出する製品は、規制が厳しいので電磁波対策がしてあり数値は低く抑えられており、国内向けの製品は、電磁波対策は行っていないので数値が高い、というひどい話もあるそうです。
- ❗ 電気製品を常に扱う方、大型冷暖房機やコピー機などが近くにある方も要注意です。
- ❗ 家庭用電気製品の場合、1 m 以上離ればほぼ安全圏といえます。1 m 以内で使用する場合、短時間の使用を心掛けましょう。
- ❗ 密着型・接近型・頭部近くで使用する製品・長時間使う物は、できれば使用しない方が良いでしょう。代替品を使うとか、できる限り短時間にするなどを考えてください。
- ❗ 距離と時間は掛け合わされますので、電気製品を近くで長時間使用すると影響はより大きくなります。
- ❗ 携帯電話を長時間使用することは避けたほうが賢明です。
- ❗ 電気を使う以上、電磁波からは逃げられません。
正しい知識を得て自己防衛すれば、健康への影響は軽減できますので、神経質になりすぎないようご注意ください。
- ❗ 住宅購入や転居前には、必ず住居周辺・窓際の送電線・子供の遊び場所・学校周辺等の電磁波の対策も必要です。

